

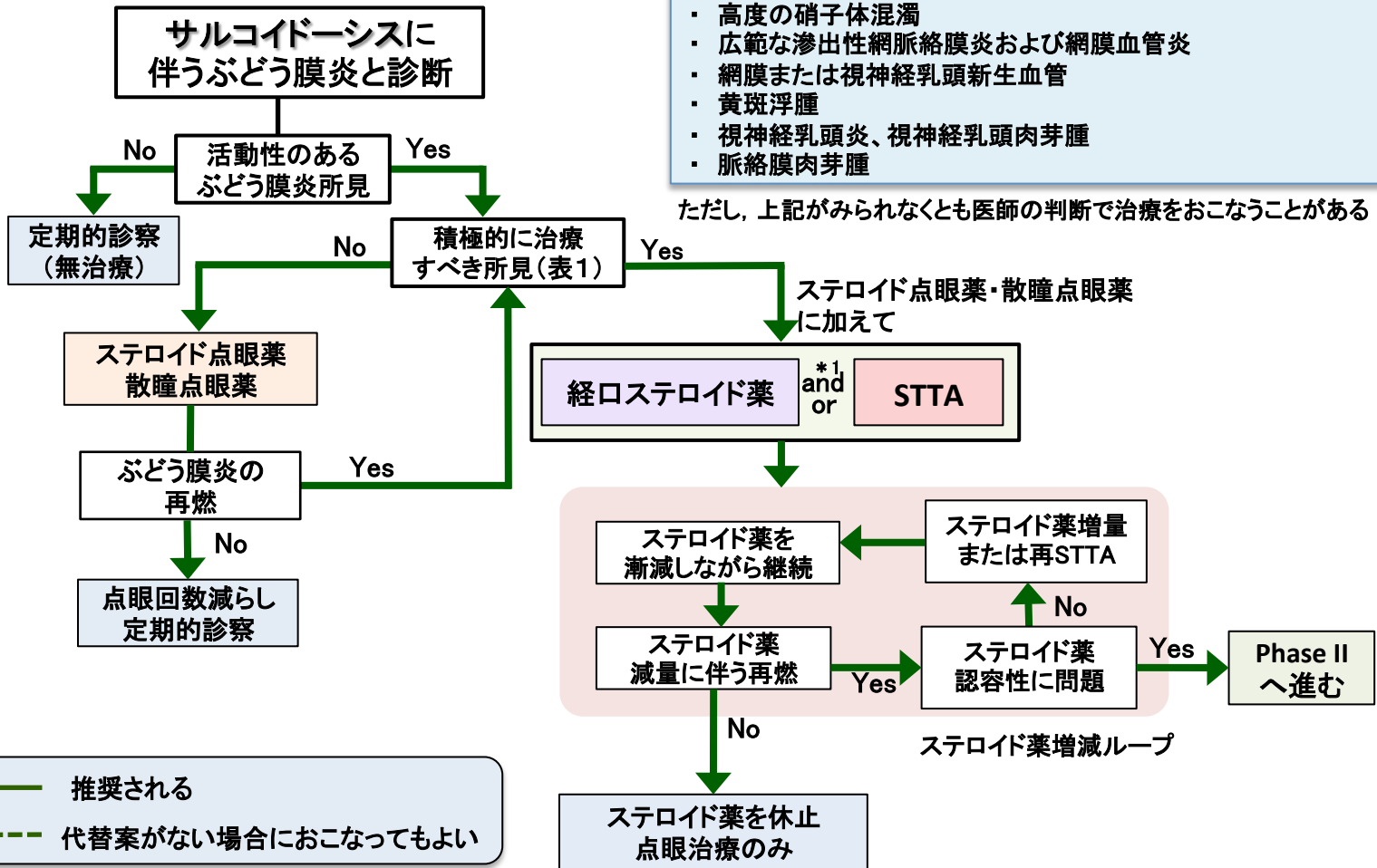
# 眼サルコイドーシスの治療手順

## Phase I

**表1 積極的に治療すべき所見**  
 (以下のような活動性病変があり視機能障害の恐れがある場合)

- ・ 重篤な前眼部炎症  
 隅角または虹彩結節が大きく多数、あるいは虹彩上に新生血管あり
- ・ 高度の硝子体混濁
- ・ 広範な滲出性網脈絡膜炎および網膜血管炎
- ・ 網膜または視神経乳頭新生血管
- ・ 黄斑浮腫
- ・ 視神経乳頭炎、視神経乳頭肉芽腫
- ・ 脈絡膜肉芽腫

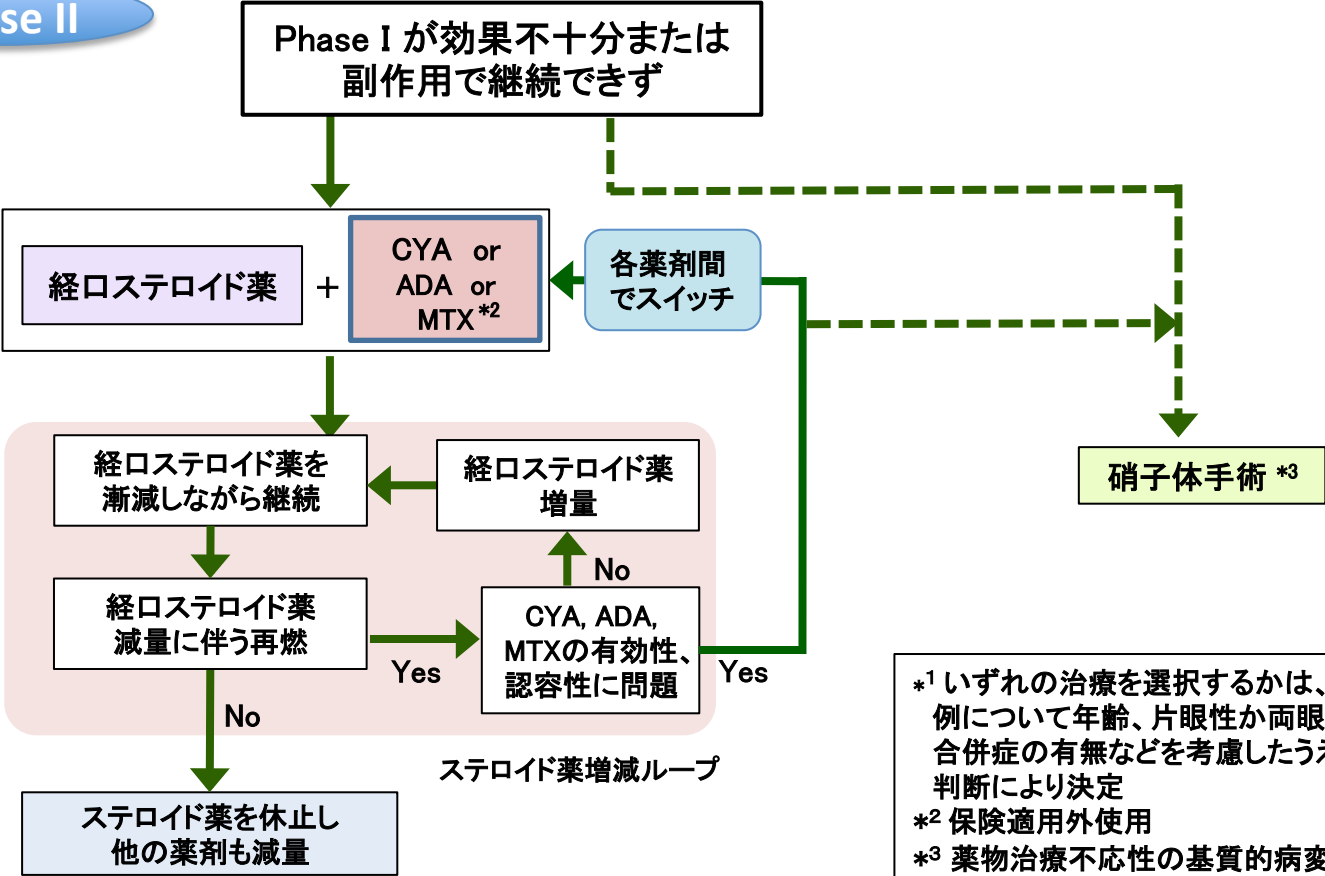
ただし、上記がみられなくとも医師の判断で治療をおこなうことがある



← 推奨される  
 ← 代替案がない場合におこなってもよい

# 眼サルコイドーシスの治療手順

## Phase II



ステロイド薬増減ループ

← 推奨される  
 ←--- 代替案がない場合におこなってもよい

\*<sup>1</sup> いずれの治療を選択するかは、個々の症例について年齢、片眼性か両眼性か、全身合併症の有無などを考慮したうえで、医師の判断により決定  
 \*<sup>2</sup> 保険適用外使用  
 \*<sup>3</sup> 薬物治療不応性の基質的病変、一部の眼合併症に適応

STTA: トリアムシロン後部テノン嚢下注射  
 MTX: メトトレキサート  
 CYA: シクロスポリン  
 ADA: アダリムマブ